日本経済入門Ⅰ

科目ナンバリング　ECP-101
選択必修　　2単位

井内　正敏

1. 授業の概要（ねらい）

本講義は、経済学の基礎的理論や経済データの見方を紹介しながら、日本経済の動向や現在の課題を明らかにしていくことを目的としています。

具体的には、第2次世界大戦以降の日本経済の歩みを、指定した教科書の時代区分に沿って、配付するレジュメと資料を用いながら、わかりやすく解説していきます。

2. 授業の到達目標

(1)新聞や雑誌で報道される経済記事を正しく理解したり、あるいは批判的に検討することが可能となるような経済学的な見方や経済データの見方の基礎が身につく。
(2)戦後の日本経済の歩みを、経済データを用いながら簡潔に説明できる。
(3)日本経済が直面している主要課題とその背景について、他者にわかりやすく説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

試験80%、授業への参加度・貢献度20%として評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
浅子和美・飯塚信夫・篠原総一（編）　入門・日本経済（第5版）　有斐閣
参考文献
八代尚宏　日本経済論・入門（新版）　有斐閣

5. 準備学修の内容

教科書及びレジュメに沿って講義を行います。毎回の授業の最後に、次回の講義内容の教科書該当箇所を示しますので、必ず教科書を読んで予習し、理解が困難な点等については質問事項として整理しておいてください。また、次回授業までに教科書とレジュメを用いて復習をしてください。

毎回の授業について、予習と復習にそれぞれ1時間ずつあてることを想定しています。

6. その他履修上の注意事項

授業中、私語など他の受講者に迷惑をかける行為は厳に慎んでください。また、日頃より新聞や雑誌などの経済記事に関心をもつとともに、理解が困難な点について自ら調べたり、授業内外で積極的に質問する態度を身につけてください。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス：授業の目的、授業の進め方、成績の評価について説明
【第2回】　現代経済の仕組み：日本経済を学ぶための基礎概念
【第3回】　日本経済の姿：経済データの見方・使い方
【第4回】　経済復興期
【第5回】　高度成長期
【第6回】　石油ショックと低成長
【第7回】　バブル期
【第8回】　平成の大不況：バブル崩壊
【第9回】　平成の大不況：金融危機
【第10回】　橋本内閣の6大構造改革とデフレ
【第11回】　小泉構造改革と不良債権処理
【第12回】　リーマン・ショックと東日本大震災
【第13回】　混迷した政局と政策運営
【第14回】　アベノミクス
【第15回】　まとめ：日本経済の主要課題